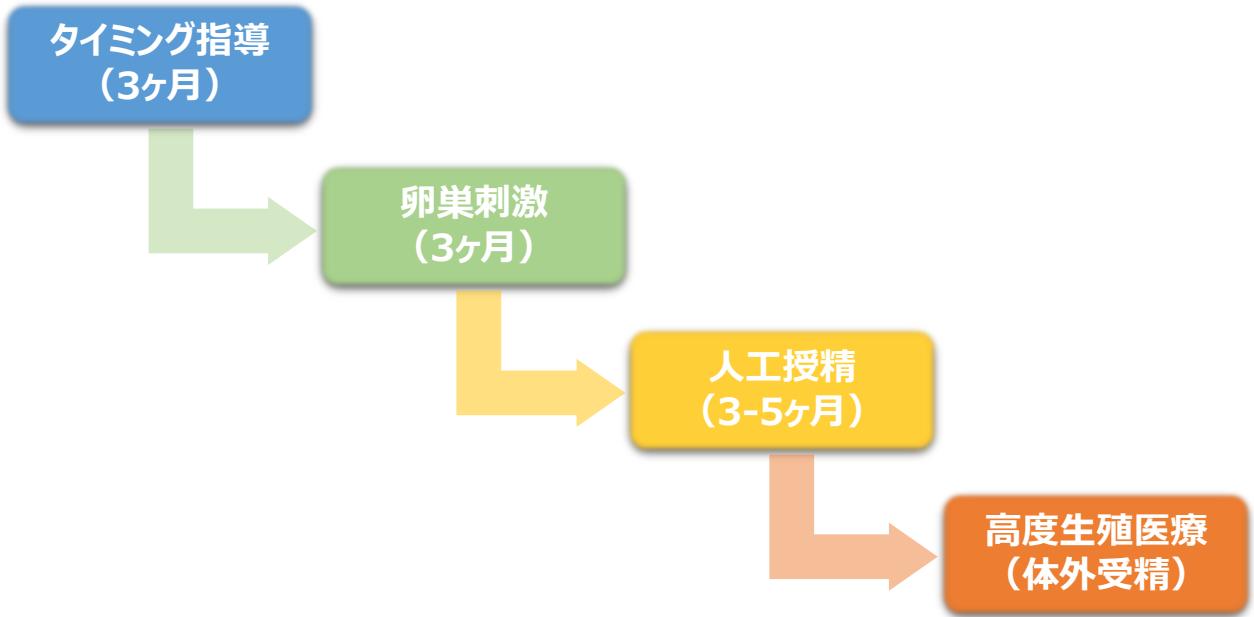


## 第3章 卵巣刺激の方法

### ステップアップ法

年齢が比較的若い（35歳未満）場合、下の様なステップで少しずつ妊娠の可能性が高い治療へとステップアップしていくのが一般的です。



### 治療開始時の年齢が高い場合

35歳以上になると、妊娠率の低下に加えて流産率の上昇も見られます（第1章）。不妊治療の目的は1日も早くお子さんに出会う事であり、不妊期間が長い場合は

**排卵誘発剤の使用→人工授精→体外受精**

上記のステップアップをより早めていくことを勧めています。

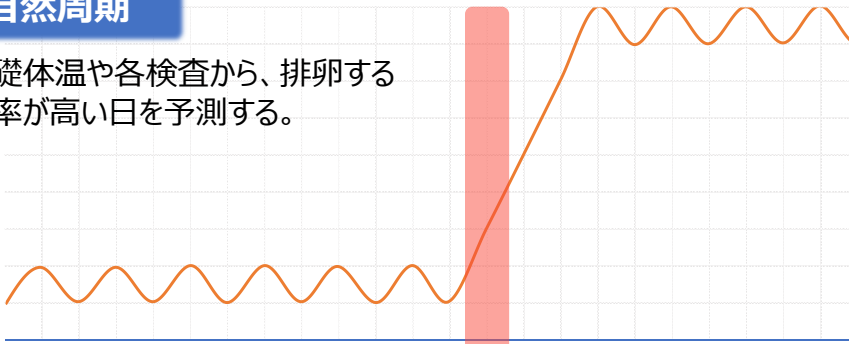
### 1周期あたりの妊娠率

	治療法	タイミング指導 (自然妊娠)	人工授精	体外受精
不妊期間1年未満の 不妊症でないカップル	自然周期	20-30%		
	自然周期	2%	6%	
不妊期間2年以上の 不妊症カップル	クロミフェン (内服の排卵誘発剤)	6%	10%	30-50%以上 *原因によって 変わる
	HMG(FSH)注射 (注射の排卵誘発剤)	10%	15%	

# 卵巣刺激の種類

## 自然周期

基礎体温や各検査から、排卵する確率が高い日を予測する。



### メリット

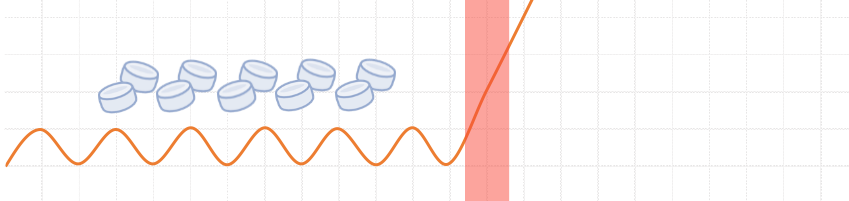
自然に近い状態  
来院日数が最小限

### デメリット

妊娠率が低い

## クロミフェン療法

月経5日目からクロミフェンを5日間服用する。



### メリット

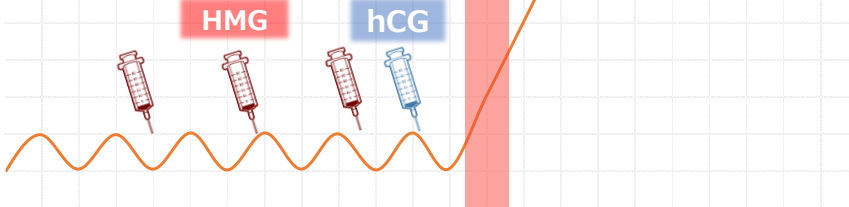
排卵が促される

### デメリット

多胎妊娠の可能性  
子宮内膜が薄くなる

## HMG-hCG療法

当院にて1日おきに数回、卵胞を育てる注射を打つ。



### メリット

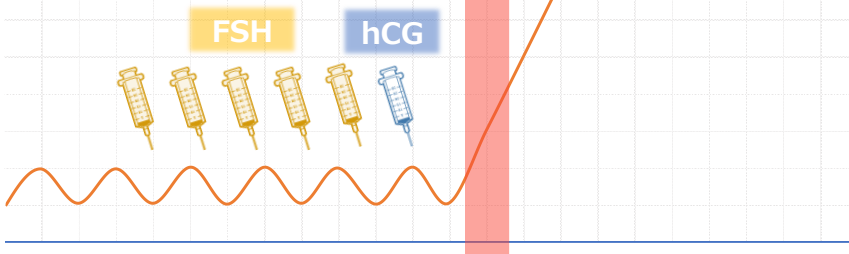
内膜が薄くならない

### デメリット

多胎妊娠の可能性  
卵巣過剰刺激症候群の可能性

## リコンビナントFSH療法

自己注射で卵胞を育てる方法。



### メリット

通院回数が減る  
内膜が薄くならない

### デメリット

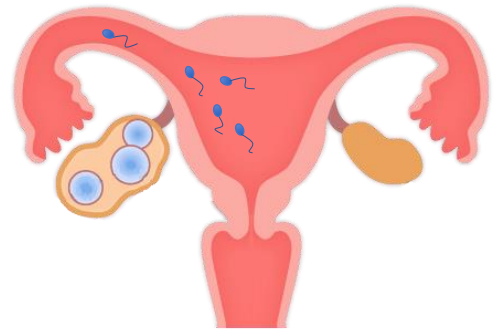
多胎妊娠の可能性  
卵巣過剰刺激症候群の可能性

タイミングを取る or 人工授精を行う

## 人工授精とは？

運動良好精子を受精の場に送り届けることで妊娠率を上げる方法です。基本的には、

- ①ご主人の精子を採精する
  - ②精子を洗浄・濃縮する
  - ③専用のチューブで子宮内に注入する
- という工程になります。

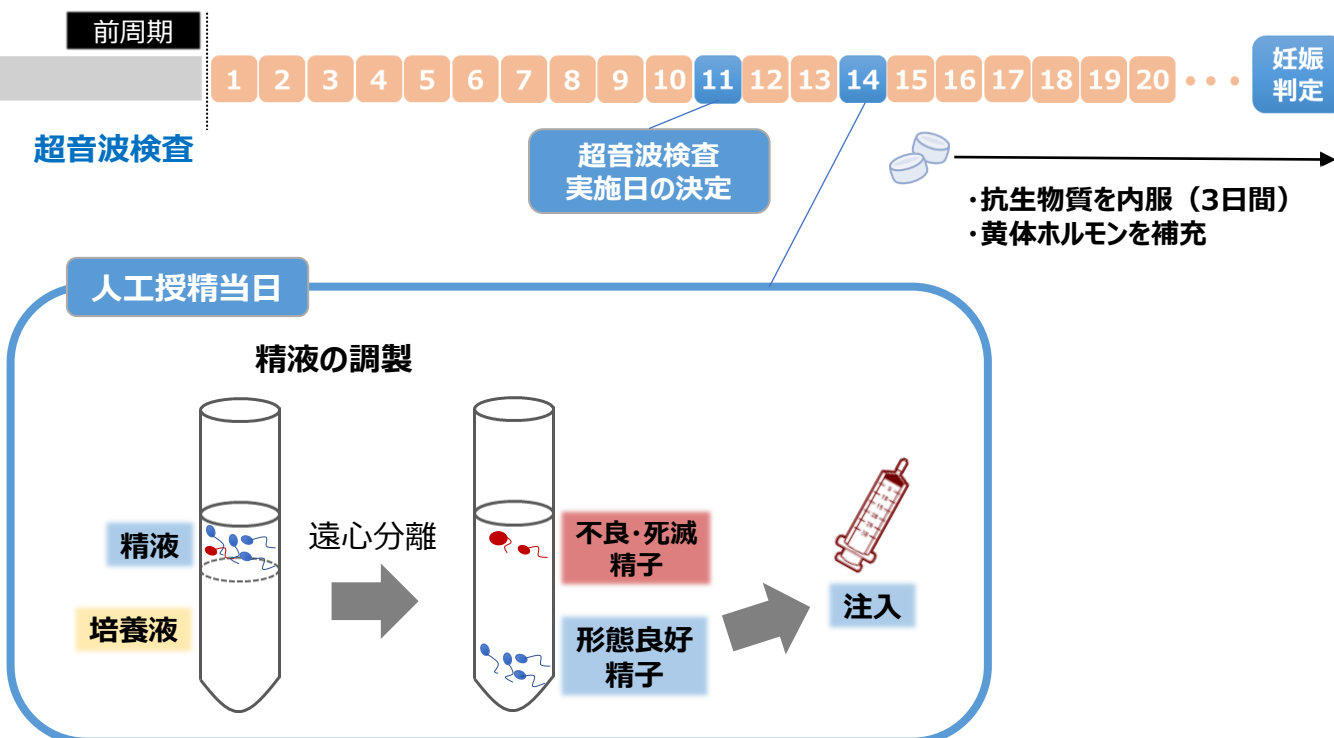


### ☑Check!! 人工授精を実施するために

当院で人工授精を実施するには、事前に以下の検査・提出が必要です。

- ①ご夫婦それぞれの診察、精液検査
- ②スクリーニング検査（感染症など）
- ③発行1年以内の戸籍謄本の提出

## 人工授精の流れ 月経から実施まで2回の来院



## 一般不妊治療の費用に関する注意点

タイミング療法や人工授精を目的とした診察や処方、基本的には保険が適用されますが、人工授精当日は全ての診察・検査・投薬・注射が自費になります。

保険でのお支払いの場合も、1か月あたりの保険適応となる検査の回数、処方量には限度があり、それ以降は自費でのお支払いとなります。

また、超音波検査では、1か月あたりの算定回数には排卵誘発剤の使用の有無など複雑な基準があり、その基準に順守して算定しています。

## 治療費用について

目安ではありますが、治療にかかる費用に関して、当院ホームページに情報を記載しておりますので、併せてご確認ください。



## 人工授精 よくある質問 ??

### 人工授精実施前

#### 1 精液を持参するとき、何時間以内に持って行けばいいですか？

基本的には2時間以内にご来院いただければ、精液所見が極めて悪い場合を除いて、治療成績にほとんど影響はありません。

ただし2時間を超えるような場合、例えば、**朝に採精した精子を午後**に持参して人工授精を実施する、といったことは出来ません。



#### 2 当日に採精が出来ない場合、どうすれば良いのでしょうか？

事前に精子凍結を実施している場合は、凍結した精子を利用する事が可能です。スクリーニング検査が済んでいれば凍結は実施できますが、人工授精に**凍結精子を用いると、妊娠率が大きく低下する**事が報告されているため、出来るだけ新鮮精子での実施をお勧めしています。



### 人工授精実施後

#### 3 実施した後、どうやって生活すればよいですか？

人工授精を**実施した日はシャワー浴のみ**となりますが、特に安静にする必要はなく、通常的生活を送っていただいてもかまいません。



#### 4 日常生活で気に掛けることはありますか？

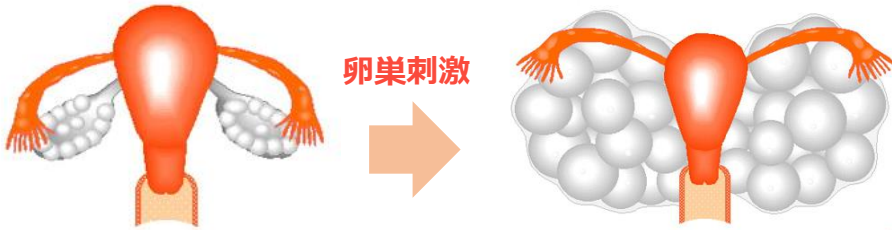
**基礎体温については継続して測定**してください。また、人工授精の実施後、少量の出血がある場合がありますが、特に心配はありません。強い痛みや多量の出血が見られた際には、診療時間内であれば当院へお電話でご相談ください。



## 治療の副作用

### 卵巣過剰刺激症候群

刺激によって卵巣が腫れ、**腹水(胸水)が貯まった**状態を指します。進行すると、血管内脱水になり、**血栓症の危険**が高くなります。



当院では、患者さんの体質に合わせた適切な刺激を心がけており、出来る限り症状が発生しないよう努力しています。また、体外受精の場合には、得られた**全ての胚を凍結**しておき、時期をあけてから**凍結胚を移植**することを推奨しています。

### 多胎妊娠

卵巣刺激によって複数の卵胞が育った場合、双子、三つ子等の可能性が出てきます。それに伴い、母胎、胎児の両方に大きな影響があります。

#### 母胎への影響

切迫早産による長期入院、その治療による副作用  
 妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病  
 前置胎盤、前期破水、羊水過多、帝王切開  
 常位胎盤早期剥離、**分娩時大量出血**(弛緩出血)

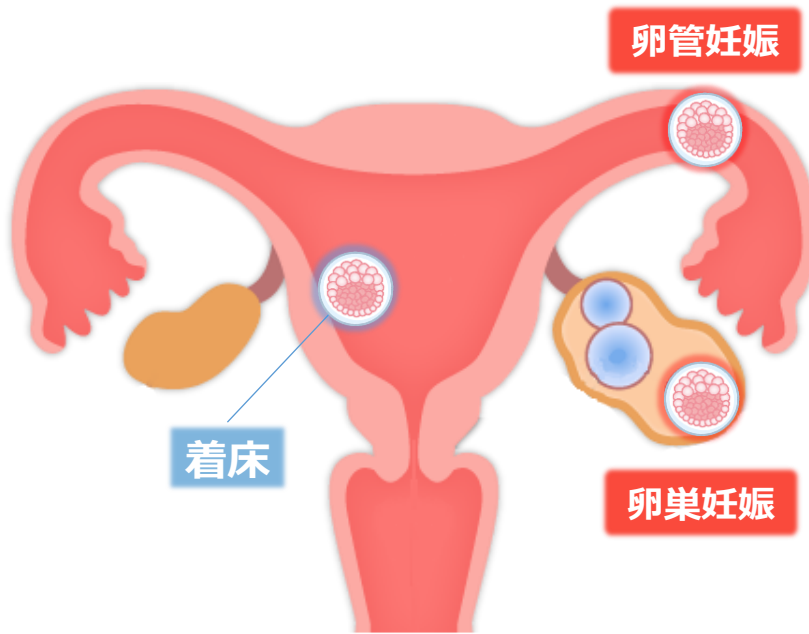


#### 胎児への影響

早産率が極めて高い (多くの子が37週以前に出生)  
 無脳児、髄膜瘤、脊髄破裂などの神経系の異常、心奇形、食道閉鎖、脳性麻痺 など  
**子宮内胎児死亡** (単胎妊娠の数倍のリスク)  
 母体合併症が重篤化すれば、妊娠継続が困難になる可能性

## 子宮外妊娠

受精卵が正しい場所である子宮内膜以外の場所に着床することをいい、正式には「**異所性妊娠**」と言います。最も頻度の高いものは卵管妊娠で、異所性妊娠の約95%を占めます。



### ☑Check! 治療による子宮外妊娠の可能性は？

子宮外妊娠は、全妊娠のうち**約1%の確率で起こります**。

排卵を誘発するお薬や、人工授精の実施によって子宮外妊娠の確率が上昇するわけではなく、**どなたでも起こる可能性があります**。

## 気を付けるべきこと

子宮外妊娠で気を付けなければならない症状は、**腹痛**です。卵管などの弱い部分で妊娠が成立すると、妊娠の進行によって破裂して出血が発生し、最悪の場合には出血性ショックで死亡する可能性もあります。